

リモリマンスリー 初号

増える地域おこし協力隊
今月で5名!

皆さん、こんにちは。町内の林業関係者(事業者)で作る榑原令和の森林づくり協議会(通称リモリ)からご挨拶いたします。これまで協議会の活動を『ReMORI MAGAZINE』でお知らせしてきました。隊員がぐんと増えたことを契機に、今月から「月イチ」で報告することになりました。よろしくお願いたします。

4月1日に吉田町長から地域おこし協力隊の辞令を受けたのは2名。高橋亮多さんは兵庫県西宮市出身。山口佑貴さんは高知市出身です。今月には神奈川県横浜市出身の長谷川夏輝さんが着任し、計5名の部隊になります。

3年の任用期間中に、林業の基本が身につくよう、全員が榑原に定住して下さるよう、協議会は育成に努めます。町民の皆さまのご協力をお願いいたします。コロナ禍で外国からの木材輸入が滞り、ウッドショックが起きました。さらにウクライナ侵攻によるロシア材の禁輸措置が、第2のウッドショックに繋がります。国産木材での難局を乗り越えなければなりません。先人が育ててくれた山の資源を活かす時が来ました。しっかりと前進したいと考えます。

「リモリマンスリー」の初号は、二人の新人隊員が自己紹介します。見かけましたら、是非お声かけをお願いいたします。

地拵え、やりました!

この春、ゆすはら地域おこし協力隊に着任しました山口佑貴です。生まれも育ちも高知県の土佐っ子です。今年で30歳になります。結婚を機に榑原町への移住を決めたのですが、妻が「榑原町役場で地域おこし協力隊を募集していたよ」と教えてくれて、まずお話を聞きに伺ったのが始まりでした。

以前は調理師や営業職に就いていましたが、「林業」という業種を生涯の生業にしたいと決意し、ここ榑原へ来ました。趣味は釣りと写真撮影です。

釣りは海も川も好きですが、榑原ではアメゴ釣りを楽しんでいます。また、県内のいろ

んな土地を歩きながら、そこしかない風景やモノの写真を撮る活動をしています。最近はお畑で野菜などの作物を育てることに夢中で、枝豆やそら豆、トマト、ジャガイモ、それから高知の「地きび」を植えています。

この文章を書いている現在、地拵え作業をしています。情けないことに日頃の運動不足を感じています。まだまだ未知の世界で知らないことばかりですが、地域おこし協力隊の3年間で林業のイロハを学び、一人前の「山師」になれるよう精進しますので、どうぞよろしくお願いたします。

得意技は大道芸!

初めまして。兵庫県西宮市から地域おこし協力隊に着任しました高橋亮多です。昔、「ゆすこみやっこ」のイベントで榑原に来たことがあります。その当時に見た景色や経験が忘れずに大切な思い出となり、機会があればまた榑原へ行きたいと思っていました。地域おこし協力隊という機会に恵まれて、また榑原へ行きたいという願いが実現しました。

以前はアパレル店員として働いていました。地域おこし協力隊では「林業・森林づくり」という全く違う職種となりますが、新たな発見や景色をみていきたい、榑原という地でもっと成長していきたい、たくさんの方に果敢にチャレンジしていきたいと思っています。

また、趣味で大道芸をしています。皆さんに元気を与え、笑顔になっていただきたいので、もしご要望があればいつでもお声かけください。

最後に、私はまだまだ未熟者で皆さんにご迷惑をおかけするかもしれませんが、少しでも榑原の皆さんのお役に立てるよう努力していきます。どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

編集・発行：ReMORI(角金・笹岡)
お問い合わせ：森林の文化創造推進課
お電話：0889-65-0811

お気づきの点、ご意見ご要望がございましたら上記までご連絡ください。



RYOTA TAKAHASHI



YUKI YAMAGUCHI